

神戸女学院大学 人間科学部 心理・行動科学科 精神保健福祉士養成課程 ニュースレター

第4号

2021年12月11日(土)

4回生による精神保健福祉援助実習 実習報告会を開催しました！

4回生 12名による精神保健福祉援助実習 実習報告会が行われました。この報告会は実習の【集大成】とも呼べます。各実習機関へ、どのような実習目的や希望を持って実習に挑んだか、印象的であった場面や専門職としての自分を育てるための今後の課題などを発表します。報告会開始前は、あちこちから「緊張する！」と声が聞こえましたが、堂々とした発表姿に、210時間の実習を終えた12名の成長と力強さを感じました。



4回生への質疑応答(一部ご紹介)

Q1:利用者の方、患者の方より言動が観察されていると感じた場面を具体的に伺いたい

A1:事業所実習に置いて、非言語コミュニケーションを感じた場面

Q2:(ある場面で、場の雰囲気を変えたくないと話について)再び同じ場面に遭遇したら次どうするか?

A2:実習指導者の方より、予測して発言する大切さを学んだ。その場では一言だけ注意をし、その後個別で伝えるようにしたい。



卒業生によるお話

4回生の実習発表後は、2年ぶりに本学卒業生によるお話を実施しました。今年度は大阪精神障害者就労支援ネットワークにて就労支援員として従事している小田 果林さん(15期生)より、実際の業務内容や、事例をご紹介くださいました。座学を通してたくさんの事例に触れますが、実際に働いている先輩からのお話はより身近に感じられる時間であったと思います。

学生からOG講師への質疑応答(一部ご紹介)

Q1:就労支援員の職歴はどのような方がいますか?

A1:精神保健福祉士だけでなく、心理士、かつては会社の人事部署で働いていた方、ネジを作っていた方など様々である。ゆえに、「専門職と言えるのか...?」迷うこともあるが、専門性を活かせるような関わりに努めている。

Q2:報連相が苦手な方へ工夫している対応はありますか?

A2:企業へ代わりに気持ちを伝えてほしいと頼まれることもあるが、一生サポートできるわけではない。社会で通じるところ、通じないところの線引きはきちんと区別して関わっている。



第24回 精神保健福祉士 国家試験は2022年2月5日(土)、6日(日)です。
4回生のみなさん、ラストスパート頑張ってください！！

